

## 2020 年度 公益社団法人日本地すべり学会東北支部 第 36 回総会議事録

※本年度の支部総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止にため委任状による議決とし、支部総会は役員及び事務局によるリモート会議として執り行った。

開催日時：2020 年 5 月 15 日(金) 16:00~17:30

出席者：大河原支部長、金子副支部長、橋本監事、渋谷監事、瀬野幹事長、三嶋副幹事長、渡辺副幹事長、大村副幹事長、大澤事務局長

総会進行：瀬野幹事長 議事進行：大河原支部長

参加者：リモート出席 8 名（正会員） 委任状 80 名 計 88 名

\*定足数 85 名（会員数 169 名の 1/2 以上）を満たすことから、総会は成立すると事務局長より報告された。

### 1.開会

瀬野幹事長による開会の挨拶、ならびに本日の流れなどの事務連絡。

### 2.支部長挨拶

大河原支部長より総会に先立っての挨拶があった。

- ・コロナウイルス感染予防の観点から、このような形での総会開催となったこと、その準備に当たった事務局への御礼を申し上げた。
- ・総会議事録の作成を瀬野幹事長が行うように指示した。

### 3.議事

#### ○第一号議案 2019 年度事業報告

- ・事務局より事業報告の説明（議案書 p1~4）
- ・2019 年度総会、シンポジウム、意見交換会の開催を報告
- ・役員会、幹事会、委員会の開催と審議内容の報告
- ・運営委員会（3/27 予定）はコロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とし、4/1 に役員会を開催し替えるものとした（議案書（案）を事前に運営委員に送付し確認をもらった）。
- ・「2019 年台風第 19 号に関する合同調査団」に関する合同会議の開催を追加した。
- ・ワーキンググループ「斜面変動研究の次世代コロキウム」は、台風第 19 号災害やコロナウイルス感染拡大の影響により、2 回の開催にとどまった。事業は本部若手対策費を活用した。
- ・地すべり現地検討会は岩手県八幡平市にて「八幡平地すべり」を対象に実施し、近接する旧松尾鉦山の坑排水対策施設を見学した。検討会は地すべりの概成に向けた進め方と坑排水処理事業に関する意見交換を行った。
- ・台風第 19 号災害に関し土木学会東北支部、地盤工学会東北支部、東北大学災害科学国際研究所と合同学術調査団を結成し、宮城県丸森町ならびに岩手県沿岸部を中心に合計 4 回の現地調査を行った。

- 支部だより第 30 号を 2019 年 12 月に発刊した。同じ所属会社の会員にはまとめて発送することで経費の節減を図った（印刷 350 部 発送 344 部）。
- 関連団体、地域貢献活動として、以下の活動を行った。  
台風第 19 号災害合同学術調査団「調査結果に関する速報会」 2019 年 12 月 14 日開催  
本報告会（2020 年 3 月 20 日予定）は諸般の事情により 11 月 20 日に延期となった。

※第一号議案に関して委任状を含め質問や意見等は無く承認された。

#### ○第二号議案 2019 年度収支決算報告及び監査報告

- 大澤事務局長より収支決算報告内容についての説明（議案書 p5～6）
- 2019 年度の収支決算は以下のとおり  
収益 1,870,035 円 支出 1,848,450 円 差額 -21,585 円  
次期繰越額 1,784,961 円 + 21,585 円 = 1,806,546 円
- 監事である橋本修一氏、渋谷 保氏による監査報告（議案書 p7）

※第二号議案に関して委任状を含め質問や意見等は無く承認された。

#### ○第三号議案 2020 年度事業計画(案)

- 事務局より 2020 年度事業計画(案)の説明（議案書 p8～11）
- 役員会、幹事会、運営委員会及び各委員会の開催予定
- 支部若手技術者の技術的交流の場として、今年度も引き続き開催していく。年 5 回程度の開催を目標に、参加者は随時公募しより多くの技術者の参加を促していくが、コロナウイルスの影響を考慮し Web 開催とすることも検討する。
- 2019 年度に講演依頼をしていた九州大学名誉教授 吉村和久先生を招いての研修会やシンポジウムの開催を計画する。時期や形式については幹事会で立案する。
- 地すべりの継続的な現地調査や研究を行うための研究フィールドを設定し、若手を含む会員の技術向上と研究テーマの提供の可能性を企画する。
- 地すべり現地検討会は秋田県「崩ヶ沢地すべり」を予定していたが、コロナウイルスの影響を考慮し 2021 年に延期し、今年度の開催は中止する。
- 災害調査、社会貢献活動、会勢拡大活動、他学協会との連携を推進する。
- 支部だより第 31 号を 2020 年 12 月に発行予定である。会勢拡大活動の一環として、講師派遣などを通じた支部活動の広報、発信を行う。また、「地すべり調査・設計に関する技術講座」の開催を計画する。
- 地形判読による地すべり地形の把握と危険度評価に関する研究成果を、広く一般に周知し普及させる目的で、「防災のための地すべり地形の読み解き方-斜面災害危険度評価ガイドブック」を 2020 年度内に発刊する。

第三号議案に関して委任状を含め質問や意見等は無く承認された。

○第四号議案 2020 年度収支予算(案)

- 事務局より収支予算(案)について、2019 年度収支決算及び実情に合わせた計画としている旨を説明（議案書 p12～13）
- 本部仮払金については次期繰越金 100 万円以下の支部を対象とするため、東北支部は該当しないことを説明した。
- 支部協賛金（年 20,000 円）については、コロナウイルスの影響による事業中止が見込まれることから、今年度に限り 10,000 円とすることを決定した。協賛金の案内には減額理由を明記し、8 月末までの入金をお願いすることとした。
- 「支部費用\_その他事業活動\_その他」に書籍出版費として、支部負担分 400,000 円を計上している。
- 収支予算見込みは以下のとおり

収益 1,720,010 円 支出 2,660,000 円 差額 -939,990 円

次期繰越額見込み 1,806,546 円 - 939,990 円=836,556 円

※第四号議案に関して、大河原支部長より協賛金減額と事業中止に伴う変更予算を作成することを事務局へ指示した。

○第五号議案 役員改選（案）の件（議案書 p14）

- 2020 年 1 月 25 日開催の役員会において、次期役員を以下とすることとした。

支部長	大河原正文氏	（岩手大学理工学部准教授）	再任
副支部長	高見 智之氏	（国際航業(株)東北支社技術部長）	新任
監事	橋本 修一氏	（(株)東北開発コンサルタント専門役）	再任
	渋谷 保氏	（日特建設(株)東北支店技術部長）	再任
- 前副支部長 金子和亮氏を運営委員に推薦し承認を得た。
- 幹事についても総会承認事項となるのではないかとの質問があったが、幹事は支部長の委任であることを説明し了承を得ている。

※第五号議案に関して委任状を含め質問や意見等は無く承認された。

## ○その他（議案書 p16）

### 協賛金について

- 協賛金のお願いは総会終了後、3か月以内での対応をお願いしたい。
- 協賛をいただいた団体、企業については支部だよりに掲載します。
- コロナウイルス感染拡大防止のため今年度事業を縮小せざるを得ないことから、今年度に限り協賛金を10,000円としてお願いすることを決定した。案内には特例であることを明記すること。

※その他事項に関して委任状を含め質問や意見等は無く承認された。

## 4.報告事項（議案書 p17）

- 2019年度本部開催事業について
- 第5回斜面防災世界フォーラム2020 京都は1年程度延期されることが決定した。

## 5.閉会

瀬野幹事長が総会の閉会を告げ終了した。

